

『生産性向上支援訓練』を利用した方の声

株式会社セーブ(鶴岡市)

DX・ミドルシニア
マーケティングコース 全15コース

プロフィール

- ・所在地：山形県鶴岡市
- ・従業員数：14名
- ・主な業務内容：
①個人農業者のためのパッケージソフト開発
②企業に合わせたシステムの作成・ご提案

訓練コース名：

- R1 個人情報保護と情報管理
- R2 (オフ)ナレッジマネジメント
- R2 (オフ)実務に基づくマーケティング入門
- R3 (オフ)現場社員のための組織力向上
- R3 (オフ)顧客満足度向上のためのCSI調査とデータ分析
- R4 (オフ)新サービス・商品開発の基本プロセス
- R4 (オフ)相手に伝わるプレゼン資料作成
- R4 (オフ)失敗しない社内システム導入

2019年～2024年 15コース

- R5 脅威情報とセキュリティ対策
- R5 データサイエンス入門
- R6 表計算ソフトを活用した統計データ分析
- R6 品質管理に役立つグラフ活用
- R6 ネット炎上時のトラブル対応
- R6 職業能力の整理とノウハウの継承
- R6 インターネットマーケティングの活用

事業主の声

<専務取締役 小田 宜裕さま>

訓練の成果

計画的・
継続的活用

当社では全国の個人農業者様を対象とした独自のパッケージソフト「らくらくシリーズ」、県内企業様対象の自社開発100%のソフトウェアを主力商品に、多くのユーザー様にご好評をいただいております。お客様との取引を重ねる中でいただいた様々な情報を更なる製品開発やお客様満足度の向上に活かしていこうと、社員一同業務に励んでいます。



当社の人材定着率は高く、通常業務はOJTを中心に時間をかけて取り組んでいます。一方、新しい発想や問題解決手法など新たな視点で業務を見る力を育てる社外研修を活用したOFF-JTにも取り組みたいと考えていました。しかし、社外の研修を全員で複数回実施するのは難しく、そんな中、2019年にポリテクセンターの生産性向上支援訓練を知りました。自社内でOFF-JTの研修を実施できる。講師の方々が、当社の課題に対して、的確で専門性の高い訓練を提案してくれる。当社では2019年以降、人材育成計画の中に生産性向上支援訓練を組み込み、継続的に利用し実践活用しています。

生産性向上支援訓練では、人材開発支援助成金やキャリアアップ助成金を活用した受講も可能です。生産性センターからは、人材開発支援助成金とキャリアアップ助成金の活用についてもサポートして頂き、大変助かりました。これからも助成金も活用しながら、継続受講していきたいです。

①主力パッケージソフトバージョンアップ

体験版作成(無料)



②独自CTIシステム作成のご提案

- ・鋼材切断自動計算システム
- ・生産管理システム
- ・販売管理システム
- ・産直管理システム

③社内システムの構築

蓄積した情報を見える化し活用

- ・担当ダイレクト電話対応
- ・無人受付



④社内コミュニケーション活性化

⑤生産性向上

訓練受講前～3年後
自社の生産性が4%アップ

受講者の声

<開発部 小山 龍哉さま>

講師の方の具体的な経験談を通じて、生きた知識として吸収することができました。弊社の業務に寄り添った形で講義していただいたので、膨大な情報データをどう活用するかなど、課題を改めて整理することができました。

研修を継続するメリットは大きいです。まず、課題に対して計画的に改善し続けることができます。また、全員で学び続けることが大切という雰囲気が社内に生まれています。回を重ねることで、全員の知識や能力が確実に底上げされてきています。社内でOFF-JTを実施することで、研修に参加しやすく社内コミュニケーションも活性化されました。視野も広がりました。課題は着実に解決へとつながり、社員一同の解決手法の引き出しも着実に増えています。講師の先生方に触発され、自社の新たな業務改善システムを考え、構築することができました。なくてはならないインフラシステムとなっています。自社の業務改善にとどめることなく、この考え方をお客様への提案にも活かしていきたいです。